



横浜農と緑の会

はま農楽だより No. 51

(令和3年 3月発行)

会員の皆様、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は、“はま農楽”へのご支援を賜り有難うございます。今回の「はま農楽だより」は、令和2年度を振り返り活動報告をさせて頂きました。

令和2年度“はま農楽”の活動を振り返って

代表 干川 純

令和2年度は、“はま農楽”の基本理念である「笑顔で・楽しく・元気に」をモットーに活動してまいりました。

今年度も残すところあとわずかとなりました。今年度の大きな出来事は、新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大の影響で世界中が活動自粛を余儀なくされたことです。

“はま農楽”会員の皆様におかれましても、多大な影響を受けたなかで、多くの会員の皆様が援農・ボランティア活動に参加されている現状に感謝いたします。

「第19回総会」は、会員一同集まっての開催を取りやめ、書面による議案審議をお願いし、書面議決の結果を送付いたしました。

FU研修を振り返りますと、5月末まで原則中止とし最小限の作業のみ行い、6月から3密をさげ、ほぼ予定通り実施しました。

イベントについては、視察研修会は中止しました。農と緑のふれあい祭りは規模を縮小し、野菜収穫体験と花摘みのみ実施しました。収穫感謝祭は、毎年会員同士の交流を兼ねた懇親会を開催していましたが、実習展示場の人数制限が有り、「ミニ門松キット」と支援センター圃場で育てた「野菜・花」を希望者に提供しました。

広報活動として、ホームページを活用し援農情報・FU活動・運営委員会の議事録・活動報告書の集計等各種情報を掲載していますので、皆様の活用をお願い致します。

来年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと思いますが、会員の皆様におかれましては、健康に留意し元気に活動できるように願っております。

援農・緑化ボランティア10ヶ条

1. 気持ちの良い挨拶をしましょう。(お早うございます。こんにちは。お先に失礼します。・・・)
2. 作業のしやすい服装でしましょう。(ケガ、作業効率を考えて・・・)
3. 私語はつつしみ だらだらした作業は止めましょう。
4. 援農先の園主の考えで作業しましょう。(自己流、マイペースは避けましょう。)
5. 他の農家の情報は、質問された範囲で最小限にとどめましょう。
6. 個人情報・農家情報の扱いに最大限の配慮をしましょう。
7. 持参した弁当・飲み物のゴミは、自宅に持ち帰りましょう。
8. 使用した道具は、きれいにしてきちんと元のところに戻しましょう。
9. 作業時間を守りましょう。
10. 休みの予定は、なるべく早く連絡しましょう。

“はま農楽” イベントの活動報告

秋の視察研修会（中止）

農と緑の感謝デー

令和2年11月3日（日）に環境活動支援センター、横浜市児童遊園地を会場にした「農と緑の感謝デー」が開催され、“はま農楽” 会員25名のご協力を頂きました。

今年はコロナの関係で事前の参加申し込み制となりました。各エリアに職員を配置し参加者へセンター内設備等の説明もあり、参加者を職員が引率する姿が印象的でした。

“はま農楽” のブースは子ども野菜収穫体験（長ねぎ・落花生）と花摘み体験に限定となり、従来のリース作り、野遊び工房（紙鉄砲・どんぐり細工）が中止となりました。

<子ども野菜収穫体験>

22組の参加者がありました。圃場では最初に職員の方の説明があり、参加の皆さんは熱心に聞いておりました。

ルールを守りコロナ禍での参加でしたが、親子の楽しそうな会話を沢山聞けました。

今回は人数も少なく時間の余裕があり、子どもの笑顔、親御さんの笑顔が特に印象的でした。このような場所を提供できた喜びを感じ、また来年も頑張る気持ちが湧いてきました。



<花摘み体験>

20組の参加者がありました。花班の担当が花畑を案内して花の説明と花摘みを行いました。参加者が少ない分ゆったりと自然を楽しむ癒しの時間と言える感じでした。

花班の日ごろの準備に「ご苦労様」と一言いたい気持ちになりました。



収穫感謝祭

令和2年年12月16日（水）に環境活動支援センター実習展示場で行いました。ことしは交流会（懇親会）を中止し、事前参加申し込みで収穫感謝祭を行いました。参加者には事前に参加時間を指定し混雑を避けるコロナ対策としました。各班並びにセンターからの提供品は「くじ引き」で、「ミニ門松作りキット」は事前希望者へ配布しました。

参加者59名で「ミニ門松作りキット」は40名の方が持ち帰りました。例年とは違う風景でしたが参加した皆様の感謝の笑顔が多く見られました。例年の交流会では皆様からのご意見等を聞いて来期の計画作りの参考にしておりました。今回交流会は中止しましたが、皆様からのご意見等は運営委員にお伝え頂けます様お願い致します。

「ミニ門松作りキット」では材料の確保・搬入・キッド作りとコロナ禍での作業で大変なご苦勞をお掛けし、担当頂いた方々には感謝致しております。当分の間は現状が続きますが、マスク着用やルールを守り「はま農楽」会員からは新型コロナ感染者を出ない様一人ひとりの注意をお願い致します。



広報 三沢記

<花班>活動報告

- 研修日：水曜日の午前中 44日 （2020.4 から 2021.2まで）
- 参加者： 延べ人 468人
（2020.4 から 2021.2 末まで）
- 研修内容：



- ① 種を選択から播種、ポット上げ、
圃場や花壇への定植

ビオラ、ミレット、マリーゴールド、デルフィニウム、オルレア、ラグラス、ヘリクリサム、紅花、スターチス、ニゲラ、トウガラシ、千日紅、サルビア、コスモス、ヒマワリ、ワタ、金魚草、コリウス、セロシヤ、葉ボタン、アリッサム、白妙菊、ワレモコウ、ペチュニア、ディディスカス、メランポジューム、プリムラマラコウデス、オミナエシ、ルドベキア他

土作り

土の振るい選別、土の煮沸消毒、腐葉土との混合

- ② 花壇のデザイン、管理

今年度から、新たに花壇班をつくりメンバーによる花壇計画の作成（種の選定から播種、定植まで）を行い、1年中“見せる花壇”の実施を目標に研修を行ってきました。ディディスカス、ルドベキア、サルピグロックス、メランポジューム、カレンデュラ、コリウス、パンジー、ビオラで花壇を飾った。初めて植えた花々で、にぎわい感たっぷりの花壇に仕上がりました。しかし、酷暑により花が萎れ、枯れてしまうなど苦難続出。

- ③ 圃場の管理、花の収穫とドライフラワー作り

畝間に防草シートを敷き、雑草が生い茂るのを大幅に抑制させた。作業が軽減でき、圃場の景観もよくなりました。また、“見せる圃場”を意識し畝づくりの工夫を行う事で圃場の景観を楽しんでもらいました。



④草木染

今年初めて草木染に挑戦いたしました。圃場で育てた、紅花、マリーゴールドを使いショール、巾着、靴下を染めました。きれいなピンク、また、マリーゴールドのオレンジ色に染まり見事な出来栄でした。これからも、種からの発芽、圃場での育成収穫を行い、新しい草木染に挑戦したいと思います。



⑤ ふれあい祭り（感謝祭）での花摘み体験

残念ながらコロナ感染防止の観点から昨年まで行ってきた、ふれあい祭りラベンダースティック、ドライフラワーのリースや花束、トウガラシと月桂樹の葉のキッチンリースなどの販売は行わず、花摘み体験だけお行いました。しかしながら、多くの方々に参加いただき、十分に楽しんでいただく事が出来ました。

また、環境センターの厚意で、野菜や花苗の販売会の時に、花班の皆さんで製作したクリスマスリースやドライフラワーの花束、コキアを使ったリースなど様々な作品を、地元の皆様販売する事ができました。

⑥ 剪定（アジサイ、マサキ）

今年度も剪定・刈り込みの講習を果樹班と合同で行い、剪定の目的・剪定の適正時期・剪定方法・下準備などを環境センターの先生方々に実技を含めて教えていただきました。来年以降も続けて行っていきます。



● 知見・反省点等：

- ・コロナ過の中で、活動禁止、非常事態宣言の発令など想定外の事が起き、とても大事な時期に作業ができなかった。しかしながら、できうる限りの対策を取り、最小限の花苗の手入れを行う事で、何とか圃場や花壇の育苗ができた。
- ・宣言解除後にはFU研修の参加者が増え、作業に活気があり、遅れていた作業を取り戻すこともできた。
- ・今年は台風の影響は受けなかったが、長雨続きの時期や異常気象による高温が続いたことで、花色が悪かったり、風で莖が倒されたりなど自然相手の難しさを今年も経験した。
- ・活動内容についてミーティングを開き、参加者で話し合い、計画の決定・実施
- ・演習中心の研修に加え座学も取り入れ、FU研修の充実を図ることができました。今回は「花苗の害虫・対策」について講義を開催していただき、学ぶ機会を設ける事ができました。
- ・WEBに花班で実施した作業、花の種類、播種の時期、ポット上げの時期など情報をUPしてます、是非参考にしてください。

★時々でも大丈夫です。多くの方の積極的なご参加をお待ちしています。



<野菜班>活動報告



令和2年度のFU研修は、2月末時点でほぼ例年通り31回実施、延べ292人の参加となりました。コロナ禍での作業制約も多く、特に緊急事態宣言中は必要最小限の人員に絞り込んだ活動でしたが、何とか当初計画をこなしました。

研修内容は下表の活動概要の通りで、12種類の野菜を栽培しました。初夏から梅雨にかけての長雨に伴う日照不足と夏場の酷暑という異常気象も経験しましたが、酷暑時の散水等センターのご助力も得て一定の収量を確保し、タマネギ・ジャガイモ・レタス・ブロッコリー・ダイコンは一般販売で地元の皆さんに喜んでもらえました。但し、ニンジンも少雨の影響か？ほとんど発芽せず、断念せざるを得ませんでした。長ネギ・ラッカセイは、ふれあい祭りの中止に伴って計画された子供収穫体験会に供し、22組の親子連れに収穫を楽しんでもらいました。ラッカセイは今年初めて圃場に直接播種しましたが生育は良く、一方長ネギは定植時期が遅れた影響か少し生育が見劣りしました。

今年の反省点として、自然相手の難しさもありますが異常気象に対する対応が課題となります。毎週1回の研修という制約もある中で短時間に効率的に作業を進めるため、簡易な散水装置の設置等を検討する必要があります。また難しい課題ですが、天候の長期予報に併せて、作付け時期の調整等も工夫する必要があります。

その他として、12月の収穫感謝祭では、今年初めて作付けしたハウレンソウ、ブロッコリー、長ネギを提供しました。また、今年も継続して各月または2ヶ月毎のFU研修報告と2ヶ月分のFU研修予定表、及び年間の作付計画表と作付計画図を「はま農楽」ホームページに投稿しました。

本年も会員の皆さんのご参加を得て各種の活動を遂行できました。来年度もFU研修を通じて、野菜栽培のスキルアップとともに会員相互の交流を図りたいと思います。自然に触れて健康増進を図るつもりで、無理のない範囲での多くの方の参加をお待ちしています。

<野菜班>FU研修 活動概要

作物名	季節			
	春	夏	秋	冬
タマネギ	管理	収穫・販売	苗床播種	定植・管理
コムギ	管理	刈取・脱穀・乾燥	製粉・販売	播種・管理
ジャガイモ	管理	収穫・販売		植付け・管理
レタス	播種・定植・管理	収穫・販売		
長ネギ	苗床播種・定植	管理	子供収穫体験会	
ラッカセイ	ポット播種	定植・管理	子供収穫体験会	
コンニャクイモ		植付け・管理	収穫	二次加工
ニンジン		播種・収穫・販売		
ブロッコリー		苗床播種・定植	管理	収穫・販売・祭り
ダイコン			播種・管理	収穫・販売
大豆		播種・管理	管理	収穫・二次加工
ハウレンソウ			播種・管理	収穫・祭り提供
その他	除草	除草	生垣刈込	寒おこし

＜果樹班＞活動報告

2020年度果樹班のFU研修はコロナ騒ぎに翻弄されました。

2度の緊急事態宣言を受け、やむなく一部の研修（社会福祉法人グリーン、旭ブルーベリーの森、他）が中止となりました。 そんな中ではありましたが、皆様のご協力により、年間14回実施、延べ142名の参加をいただきました。

研修内容は下のFU研修活動状況の通りです。 支援センター内圃場と協力農園で実施しました。 具体的には支援センター内圃場：8回実施 延66人参加。協力農園：6回実施 延76人参加。協力農園でのFU研修は、荒井農園・北村農園で実施しました。

令和3年度もコロナの影響はなくならないと思いますが、支援センターならびにスタッフ間での話し合いを重ね、実施維持に向け取り組んでいきたいと思っております。FU研修の毎月の活動報告をHPにアップしていますのでご覧ください。

FU研修を通じて、果樹栽培を楽しみながらスキルアップできますので、気楽に参加ください。また、会員相互の交流の場となり、援農情報交換等により、援農に参加しやすくなると思っておりますので、皆様の積極的な参加をお願いします。

果樹班担当 大西



＜梨の袋掛け＞



＜梅の夏季剪定＞



＜柿の摘蕾・剪定＞

令和2年度（果樹班）FU研修 活動状況

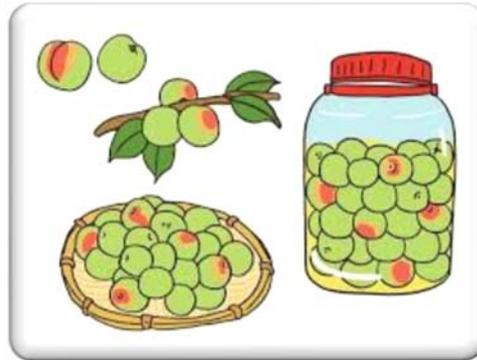
季節	研修場所(協力農園)		研修場所(支援センター内圃場)		
	梅	柿	ぶどう	梨	他
春	・収穫体験	・摘蕾、剪定			・梅の収穫、 選果
夏	・夏季剪定		・卷ひげ除去 ・房作り、袋掛け ・収穫体験	・袋掛け ・収穫体験	
秋		・収穫体験			
冬	・冬季剪定	・冬季剪定	・冬季剪定	・冬季剪定	・生垣の刈込

(協力農園): 荒井農園 北村農園

<二次加工班>活動報告

(1) 全般

- ① 新型コロナ禍のため参加人数の削減、及び一部は中止しました。
従って延べ参加人数も32名で、昨年の約1/3となりました。
- ② 但し事前作業を実施することにより、少人数でもスムーズに進行しました。
- ③ 加工品は美味しく出来上がり、会員の皆さんに購入戴きました。
- ④ 今年度は参加者がかなり固定されることとなりましたが、コロナ禍以降の参加者増加方法を考慮する必要あり！

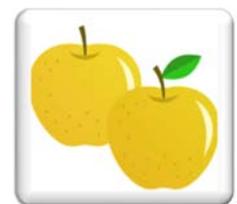


(2) 個別実績

- ① 6/3 カリカリ梅作り実施 センターより小梅のB品提供
- ② 6/10 梅ジュース作り実施 センターより梅のB品提供
- ③ 7/8 ラッキョウ作り実施 会員よりラッキョウ提供
- ④ 9/30 梨のバーベキューソース作り実施 センターより梨のB品提供
- ⑤ 11/25 こんにゃく作り実施 会員よりこんにゃく芋提供
圃場に植えたこんにゃく芋は何故か殆ど枯れてしまい、材料にならず
- ⑥ 11/25 ルバーブジャム作り実施 会員より提供された苗を植え、収穫して作る
- ⑦ 昨年度実施したお焼き作り・味噌作り・クッキー作りは中止

(3) 来年度に向けて

- ① 新型コロナ禍の状況を勘案した活動の推進
- ② 新しい二次加工の項目の探索



以上

“横浜の農と緑を知るツアー” 報告

横浜の農と緑を多様なアングルから観ることで刺激を受け、様々な発想を見聞することで“農と緑”を深める、横浜の農と緑を知るツアー。今年度は募集を行いましたが、残念ながらコロナの影響で実施することはできませんでした。4月は緊急事態宣言下で、応募者は2名でしたが、延期となりました。十月桜が咲いた頃に再び企画して、1月に実施予定でしたが、またも緊急事態宣言が発出されて延期となってしまいました。

コロナが収まってきましたら、できれば桜の季節、3月か4月に開催できればと思っています。以前には植木コースがあったそうです。樹木に興味のある方はぜひ参加ください。

1. 横浜の農と緑を知るツアー 桜編 募集内容

～環境活動支援センター内の桜の木のガイドツアー～

昨年度の活動報告のアンケートにおける要望にお応えして、環境活動支援センター職員によるガイドツアー桜編を企画しました。

◎予定した日時：令和2年4月23日（木）10：00～11：00 くらい

◎主な内容：

コロナに配慮しながら、環境活動支援センター内のサクラ見本園にある24種類の桜についての解説と作業として桜の木の周りに穴を掘って施肥を行います。

草木染めや剪定方法など、桜の木を使った企画なども考えています。何か行ってみたい企画のアイデアがあれば、運営委員やサポート委員、センター職員を通して、大澤まで連絡ください。



環境活動支援センターから

はま農楽の皆様、いつも農家への援農や地域のボランティア活動等に御尽力いただき、ありがとうございます。担い手不足の農家にとって、皆様の迅速で精力的な活動は大きな力になっています。

依然として新型コロナウイルスの影響が強く、再び緊急事態宣言が発出されるなど、大きな制限がある中での活動となっていますが、感染対策を踏まえた活動に御理解・御協力いただきましてありがとうございます。

横浜市では、持続可能な都市農業の推進が重要な施策となっています。農家の高齢化に伴う担い手不足が深刻な問題であることから、令和2年度から独自の新規就農者に対する支援事業を開始しました。環境活動支援センターでは、農業以外の職業から新規就農を目指す市民の方を育成するチャレンジファーマー支援事業を行っており、新規就農者が農業経営を安定化させ、農業の担い手として自立するには皆様の援農と連携していくことが不可欠だと考えています。新規就農者や農家からの援農依頼があった場合は積極的に参加をしていただき、農家の力になっていただければと思います。

令和3年度も環境活動支援センターは、はま農楽の皆様の活動が円滑に行えるように支援や情報の発信を行っていきます。先が見通しづらい状況ではありますが、健康に留意され充実した活動を祈念します。



環境活動支援センター長 平山 実
担当係長 木下 涼
担当 田中真鈴

■ 編集後記 ■

皆様のご協力で、「はま農楽だより51号」が出来上がりました。

例年同様、1年間を振り返って、イベントや各班の活動を報告して頂きました。今年度は、コロナ禍の影響で秋の視察研修会中止、ふれあい祭り（農と緑の感謝デー）、収穫感謝祭などのイベントも縮小となりました。どのような状況でも皆様からのご協力があれば何とか出来と言う経験となりました。これらは皆様からのご支持とご理解を頂けたことと考えております。また会の活性化を含め運営委員への皆様の応募をお待ちしております。

（広報担当 三沢）

■ 編集・発行 ■ 〒240-0045 保土ヶ谷区狩場町213

横浜市環境活動支援センター内

TEL 711-0748

FAX 711-0748

E-mail : gqrx4zfd@bird.ocn.ne.jp

HP:[http://hamanora.sakura.ne.jp/in](http://hamanora.sakura.ne.jp/index_hamanora.html)

[dex_hamanora.html](http://hamanora.sakura.ne.jp/index_hamanora.html)



横浜農と緑の会

はま農楽